

平成23年5月6日  
原子力安全対策課  
( 2 3 - 7 )  
<15時記者発表>

敦賀発電所2号機の原子炉停止について  
(1次冷却材中の放射能濃度の上昇)

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

敦賀発電所2号機（加圧水型軽水炉；定格電気出力116万kW）は、定格熱出力一定運転中の平成23年5月2日、原子炉容器内にある燃料集合体の周りを循環している1次冷却水中の希ガス（Xe-133）とヨウ素（I-133）が前回（4月26日）の測定値を上回ることが確認されたため、燃料集合体からの漏えいが発生した疑いがあると判断した。

1次冷却水中の放射能濃度の監視を強化するとともに、漏えい燃料の特定調査を行うため、計画的に原子炉を停止することを検討することとした。

なお、この事象による環境への放射能の影響はない。

[平成23年5月2日 記者発表済]

敦賀発電所2号機は、5月7日9時頃から出力降下を開始し、17時頃に発電を停止した後、20時頃に原子炉を停止する。

今後、1次冷却水中の放射能を低減させた上で、漏えい燃料の特定調査を実施する予定である。

問い合わせ先(担当：内園)  
内線2353・直通0776(20)0314

敦賀発電所2号機 1次冷却材中のヨウ素濃度、希ガス濃度および原子炉熱出力の推移  
 (第18サイクル 平成22年7月12日～平成23年5月6日)

